

Taq DNA ポリメラーゼ with Robust Buffer (-dNTPs)

商品コード	02-012 200 U 02-012-5 200 Units x 5			
容量	200 U			
保存	-20°C			
濃度	5U/μΙ			
製品説明	本製品は、 <i>Thermus aquaticus</i> DNA polymerase (Taq DNA polymerase) 遺伝子を大腸菌で			
	量に発現 させ、高度に精製したものである。天然の Taq DNA polymerase と同じく分子量 94			
	kDa で耐熱性 DNA ポリメラーゼ活性をもつ。 弊社独自の強力 (Robust)バッファーによって			
	PCR の効率が顕著に向上した。			
活性の定義	活性化サケ精子 DNA を鋳型/プライマーとして 74°C、30 分間に 10 nmol の全ヌクレオチドを不溶性沈殿物に取り込む活性を 1 unit とする。			
純度	SDS-PAGE(CBB 染色)で 95%以上が <i>Taq</i> DNA polymerase タンパク質。 エンドヌクレアーゼおよびエキソヌクレアーゼのコンタミネーションが検出されないことを確認している。			
PCR 検定	λ DNA を鋳型とした PCR 反応において良好な増幅がみられることを確認している(図 1)。			
製品内容	Taq DNA polymerase (5U/ μ I): 20 mM Tris-HCI (pH 8.0), 100 mM KCI, 0.1mM EDTA, 1mM			
	DTT, 50% glycerol, 0.5% Tween 20, 0.5% Igepal CA-630 (02-Taq 40μl) 10 x Robust Buffer (Taq): (02-Trb 1.0ml)			
用途	■ PCR 反応に適した酵素で多		FO	
	様なプライマーを用いての	一般的なPCR反応液組成 (total		
	DNA の増幅が可能	Taq DNA polymerase (5 U/μl) (02-Taq) * 0.25 μl 10x Robust Buffer (Taq) (02-Trb) 5 μl		
	・ハイスループット PCR			
	· ¬ ¬ - PCR	2.5mM (each) dNTPs (02-Dnt) 4 μl		
	・dUTP、dITP、蛍光標識ヌク	Template	<500 ng	
	レオチドの取り込み ・プライマーエクステンション ・平滑末端の 3'末端に A を 1 塩 基付加 (TA ベクターにクロ	Primer 1	0.2~1.0 μM (final conc.)	
		Primer 2	0.2~1.0 μM (final conc.)	
		滅菌蒸留水	up to 50 μl	
		* 過剰に使用すると反応の不具	 合を生じることがあります	
	ーニング可) 			
	■ Robust buffer 使用上のご注意			
	新しく添付しております 10 x Robust buffer (Taq)(02-Trb)は Taq DNA polymerase の活性を最大限に引き出すように作成されておりますので伸長時間を長くとりすぎますと目的のプロダク			
	ト以外に上下にスメアーな泳動物が出現する場合があります。			
	次ページの実験例を参考に目的のプロダクトの大きさに合わせた伸長時間を設定してご使用く			
	ださい。			
関連商品	02-001 Taq DNA Polymerase with Standard Buffer (+dNTPs)			
	02-002 Taq DNA Polymerase with Robust Buffer (+ dNTPs)			
Please note: All products are FOR RESEARCH USE ONLY. NOT FOR USE IN DIAGNOSTIC				
PROCEDURES. NOT FOR MILITARY USE.				



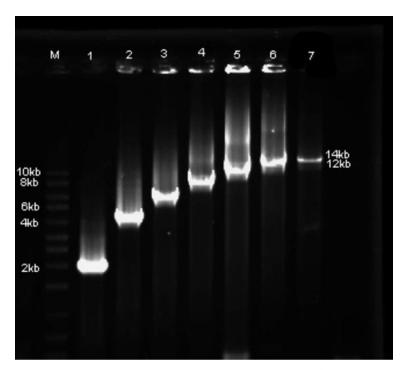
画像: 02-012 Taq DNA ポリメラーゼ (-dNTPs) with Robust Buffer

プロトコール例

λ DNA 增幅例 PCR 条件

2 kb, 4 kb $94~^{\circ}\mathrm{C}$ 1 min 95 °C $5 \sec$ $20 \sec$ 25 cycles 65 °C 6 kb 94 °C 1 min 95 °C $\left. \begin{array}{c} \text{o sec} \\ 1 \text{ min} \end{array} \right\} \, 25 \, \text{cycles}$ $5 \sec$ 65 °C 8 kb 94 °C 1 min $1 \min 20 \sec$ $\left.\right\}$ 25 cycles $95~^{\circ}\mathrm{C}$ 65 °C 10 kb, 12 kb 94 °C 1 min 98 °C $\begin{array}{c} 5 \; \mathrm{sec} \\ 3 \; \mathrm{min} \end{array} \right\} \; 30 \; \mathrm{cycles}$ $68~^{\circ}\mathrm{C}$ $72~^{\circ}\mathrm{C}$ 3 min $14 \mathrm{\,kb}$ 94 °C 1 min 98 °C $\begin{cases} o \sec \\ 4 \min \end{cases}$ 30 cycles 68 °C 72 °C 4 min

(図1)



M: marker,

lane1: 2kb, lane2: 4kb, lane3: 6kb, lane4: 8kb,

lane5: 10kb, lane6: 12kb, lane7: 14kb,

実験例では2 step PCR を行っておりますが3 step PCR もだいたい同じ伸長時間を目安にしてください。

8 k b ぐらいまでの伸長時間は 1 k b あたり約 $5 \sim 10$ 秒、 8 k b 以上の伸長には 1 k b あたり約 15 秒を設定していま す。

また目的のプロダクトの生成のない場合は少し伸長時間を伸ばして PCR を行ってください。

実験例に示したように新規 Buffer による酵素反応は非常に速いですので 2-step PCR を行うことをおすすめします。 2step PCR を行なうことにより従来のPCRより大幅に時間短縮して結果の確認ができます。